



市民プール駐車場で行われた総合防災訓練

安心して暮らせる地域の連携

「遠くの親戚より近くの他人」と言われますが、いざというとき、地域の方の助けほどありがたいものはありません。特に災害が起きたときは、普段からの訓練が冷静な行動を支え、家族構成の情報が救助の基本となります。市では、町内会・自治会の活動を積極的に支援し、協働のまちづくりを進めています。

町内会・自治会の大切さ

市議会第4回定例会が始まりました

テレビ共同受信施設設置条例などを提出...地上デジタル放送への移行に向け、山間部の難視聴の解消を図ります。残土の埋立て等の規制強化へ条例改正...山林などへの埋立て許可に市の意思を反映します。

地震による死亡原因は、圧死と窒息死が大半を占めています。実際には、地震が起きてから10分で生死が分かれると言われています。家族がいなくなった、電話がつかない、市役所も消防署も間に合わない非常時は、ご近所、隣組が頼りです。

大きな災害
頼りはご近所、隣組



6地区で行われた地域懇談会

多くの町内会・自治会では、自主防災組織が組織されていて、普段から訓練を行っています。昨年の12月に組織された防災・安心地域委員会では、防災計画などにより避難路、避難場所などの検討もしています。いざというときは、訓練を繰り返していれば、冷静に動けるようになります。ひとりでは集団訓練ができません

私たちは「暮らしている

朝早く家を出て、夜遅く帰るから、我が家は寝るために帰っているようなものでしょうか。
休日朝、窓を開けたとき、青い空からさんと降りそそぐ太陽がまぶしく、さわやかな風が部屋いっぱいに入ってくると、とても幸せな気分になります。豊かな森林が創り出すきれいな空気と、山から流れ出す

12月の市税の納期

固定資産税・都市計画税 第4期
国民健康保険税 第6期

地域のつながりが事件への安全弁

女子大生の凄惨な事件が相次いだり、詐欺にまつわる不審な事件など、大きなニュースが連日のように報道されていますが、市内でも侵入窃盗事件や暴行、恐喝、ひったくりなどの犯罪が報告されています。

「また悪さしているのはさん家の息子か」。かつては他人の子でも叱つてくれる近所のおじさんがいました。親には反抗できて、そのおじさんに怒られるのは怖いので、非行防止にもなっていたようです。地域の大人も子どももみんな知っていましたから、不審者がいるとすぐに分かりました。日常的に大人も事件に巻き込まれる危険性が高まっている今だからこそ、町内会・自治会での交流、助け合いがなくてはならない安全弁になっていきます。

清流。自然豊かなあきる野市に暮らす私たちは、「ゼいたく」な時間を共有しています。せつかくのお休みですから、街に出て散策したり、公園で子どもたちを遊ばせたり、暮らしを楽しんでみませんか。
地域の方とお話しすると、意外な名物や名所を教えてくださいました。歴史を身近に感じたり、地域に限らず市内のたくさんの情報を知ることが出来ます。何より、肩書きや役職などを気にしなくてもよいので、人として豊かな時間を持つことが

問合せ 地域防災課地域振興係(直通558・1394)